I-O DATA

MOX-SX640

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

98026-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows NT, MS, MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- IBM および ATは、IBM Corp.の登録商標です。
- Adaptec および Adaptec社のロゴは、Adaptec,Inc.の登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, PowerBook, Mac, Mac OSロゴ および その標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac, iBook, FireWireは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- RINGOWINは、富士通株式会社の登録商標です。
- "GIGAMO"は、富士通株式会社の商標です。
- B'sCrew および B'sCrewのロゴは、株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  　「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。



内部をのぞきこまないでください。

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



アクセスランプ点灯中に本製品やパソコンの電源を切らないでください。

パソコンをリセットしたり、省電力モード（スタンバイ／休止／スリープなど）にもしないでください。
また、MO ディスクを取り出さないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品内部で結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本製品内部のクリーニングについて

空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。



推奨クリーニングキット

「Head CLEANER No.0240470」（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒160-0023
東京都 新宿区西新宿 6-24-1　西新宿三井ビルディング
TEL/FAX　03-3342-5460/03-3342-5446
Web　http://www.coworco.fujitsu.com/

本製品の取り扱いについて

富士通株式会社の下記ホームページも併せてご覧ください。
http://mo.fujitsu.com/support/maintain/



上記クリーニングキットをお使いください

弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。

●MOディスクを取り扱うときは、下記に注意する

・MOディスク内部に直接触れない

MOディスクが故障する原因となります。

・MOディスクのシャッターにラベルを張らない

本製品、MOディスクが故障する原因となります。

・ラベルを2重3重に重ねて張らない

本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

・MOディスクのシャッター部を持ったまま本製品に挿入しない

静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

●640MバイトのMOディスクは圧縮ドライブとして使わない

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わない

「ディスクコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●本製品からMOディスクを抜いてからパソコンを起動する

挿入したまま起動すると一部のSCSIインターフェイスで不具合が発生する場合があります。

お読みになる前に

このたびは、MOX-SX640をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System
Windows NT 3.51	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 3.51 Operating System
Windows NT 3.1	Microsoft® Windows® Version 3.1 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me, Windows 98, Windows 95
Windows Me/98/95/2000/NT 4.0	Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 4.0
Windows Me/98/95/NT 4.0	Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0
DOS	MS-DOS, PC DOS
Adaptec	アダプテックジャパン株式会社

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に viii
もくじ ix

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 4
各部の名称・機能 7
添付品を取り付けよう 8
モードを設定しよう 10
取り付けよう 11
お使いのOSは？ 14

Windows XPでお使いの場合 **15**

SCSI-IDを設定しよう 16
使えるようにしよう 17
基本操作について 20

Windows 2000でお使いの場合 **25**

SCSI-IDを設定しよう 26
使えるようにしよう 27
基本操作について 31
ユーティリティについて 33

Windows Me/98/95/NT 4.0でお使いの場合 **37**

SCSI-IDを設定しよう 38
使えるようにしよう 39
基本操作について 43

Windows NT 3.51でお使いの場合 …… 47

SCSI-IDを設定しよう …… 48
使えるようにしよう …… 49
基本操作について …… 51

Windows 3.1、DOSでお使いの場合 …… 55

SCSI-IDを設定しよう …… 56
使えるようにしよう …… 58
基本操作について …… 62

Mac OSでお使いの場合 …… 67

SCSI-IDを設定しよう …… 68
基本操作について …… 70

付録 …… 73

困った時には …… 74
サポートソフトの削除 …… 94
動作モードについて …… 98
MOディスクから起動する …… 100
RINGOWIN LE …… 103
B'sCrew Backup for Windows …… 104
用語解説 …… 106
オプション品 …… 108
ハードウェア仕様 …… 109

サポートセンターへのお問い合わせ …… 110
サポートソフトのバージョンアップ …… 112
修理について …… 113

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

スイッチなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・8

添付品を取り付ける方法を説明します。

モードを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

本製品の動作モードを設定する方法を説明します。

取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

本製品をパソコンに取り付けます。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

お使いのOSに合ったページを案内しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は

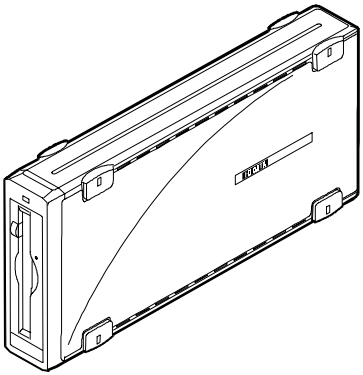
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

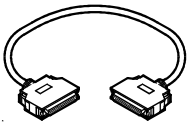
□ **MOドライブ(1個)**

［MOX-SX640］

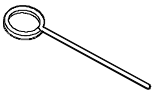


□ **SCSI接続ケーブル(1本)**

［D-subハーフピッチ50ピン⇔
D-subハーフピッチ50ピン
50cm］



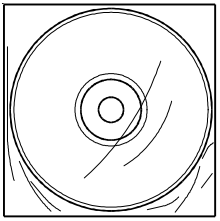
□ **強制イジェクト・ピン(1本)**



□ **ラバーフット(8個)**



☐ **MOXシリーズユーティリティソフト(1枚)**
［ハイブリッドCD-ROM(Windows/Mac OS)］



・MOシリーズサポートソフト
・Windows XP用MOドライバ
・Windows 2000用MOユーティリティソフト
・RINGOWIN LE
・B'sCrew Backup for Windows

☐ **MOシリーズサポートソフト(1枚)**
［3.5インチフロッピーディスク］



☑ **MOX-SX640取扱説明書(本書：1冊)**
☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(1枚)**
☐ **ハードウェア保証書(1枚)**
☐ **ユーザー登録カード(1枚)**
☐ **Verシール(1枚)**
☐ **ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ(1枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

B'sCrew Backup for Windowsをお使いの場合は
「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」を使ってユーザー登録をしてください。
詳しくは、「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」をご覧ください。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるSCSIコネクタがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 98 SE, Windows 95, Windows NT 4.0※1
DOS/Vマシン※2※3	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 98 SE, Windows 95, Windows NT 4.0※1, Windows NT 3.51※4※5, Windows 3.1およびMS-DOS(PC DOS) ［MS-DOS Ver5.0/V(PC DOS J5.0/V)以降］
NEC PC-9821シリーズ※3	Windows 2000, Windows 98, Windows 98 SE, Windows 95, Windows NT 4.0※1, Windows NT 3.51※5※6, Windows 3.1およびMS-DOS［Ver5.0以降］※7
Apple Macintosh※8	Mac OS※9

※1　Service Pack 4以降のみ対応です。
「Service Pack」のバージョンの確認方法は、下をご覧ください。
※2　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※3　CPU 80286以上を搭載している機種のみ対応です。
※4　640Mバイトの MOディスクは使えません。
※5　Service Pack 5以降のみ対応です。
「Service Pack」のバージョンの確認方法は、下をご覧ください。
※6　640Mバイトの MOディスクは、フォーマット済みのものを使ってください。
※7　SCSI-IDが連続している他のSCSI機器と離して、SCSI-IDを設定する必要があります。（SCSI機器の最大接続数は６台になります。）
※8　別途SCSIケーブルが必要になる場合があります。
また、パソコン標準のSCSIコネクタではUltra SCSI転送の性能では利用できません。
※9　本製品に対応しているフォーマッタソフトが必要です。
ビー・エイチ・エー社製「B'sCrew」を推奨します。



Service Packのバージョン確認方法

①「マイコンピュータ」の［ヘルプ］→［バージョン表示」をクリックします。
②表示されたメッセージの［Service Pack］のあとに表示される数字がバージョンになります。

「Service Pack」の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。
http://www.microsoft.com/japan/

SCSIインターフェイス

●推奨SCSIインターフェイス

機種	SCSIインターフェイス
PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン PC-9821シリーズ	**弊社製** SC-UPN, SC-UPCI, SC-UPCIB, SC-UPCIN, SC-UPCINB, SC-UPU2, SC-NBD, SC-NBDA, CBSCⅡシリーズ **Adaptec製** ASC-29160N, AHA-2940AUシリーズ※
Macintosh	**弊社製** SC-APU, SC-APUS, SC-APUW, SC-APU2 **Adaptec製** POWER DOMAIN 2930

※ SCSI-IDの設定に制限があります。
また、MOディスクからの起動や、HDDモードで本製品を使うことができません。

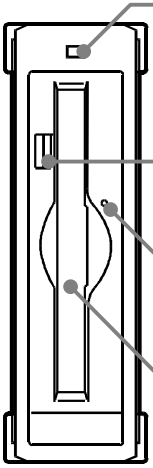


パソコンに複数枚のSCSIインターフェイスを接続している方へ
Windows Me/98/95, Windows 3.1およびMS-DOS(PC DOS)で、複数枚のSCSIインターフェイスを接続している場合は動作の保証はいたしかねます。

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認をします。

●前面



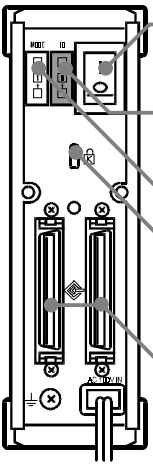
電源ランプ
電源投入時に、緑色に点灯します。

アクセスランプ・イジェクトボタン
読み書き中に、緑色に点灯します。
これを押すと、Mac OSでお使いの場合を除いてMOディスクを取り出せます。
絶対に、点灯中には押さないでください。

強制イジェクトホール
MOディスクを強制的に取り出します。
通常は使わないでください。
【MOディスクを取り出せない】(78ページ)

MOディスク挿入口
MOディスクを挿入するところです。

● 背面



電源スイッチ
本製品の電源を入／切します。

SCSI-ID設定スイッチ
SCSI-IDを設定します。
【SCSI-IDを設定しよう】(26, 38, 48, 56, 68ページ)

モードスイッチ
動作モードなどを設定します。
【モードを設定しよう】(10ページ)

ケンジントンスロット
対応したロックケーブルを購入し、取り付けます。
【ケンジントンスロット】(107ページ)

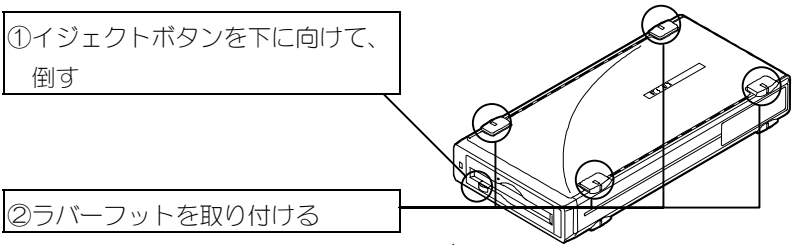
SCSIコネクタ(D-subハーフピッチ50ピン)
SCSIケーブルやターミネータを接続します。

添付品を取り付けよう

添付品の取り付けについて説明します。

横置きで使う

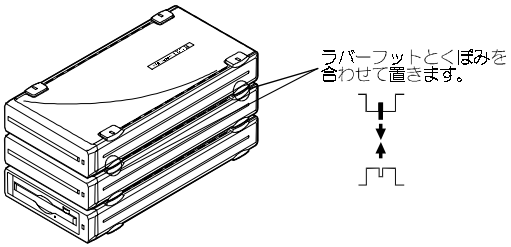
本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。
取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。



参考

重ねて使う

MOX-SXシリーズやHDXG-Sシリーズと重ねて置けます。
下の図をご覧になり、重ねてください。

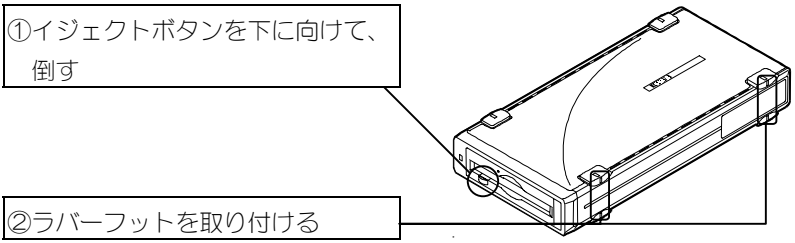


横置きで使うときの注意

- 積み重ねられるドライブは３台までです。
- 短いケーブルが必要な場合は、別途オプション品（弊社製「A50-A50-SS」など）をお買い求めください。
- MOドライブは一番下に置いてください。

縦置きで使う

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。
取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。



モードを設定しよう

ここでは、本製品のモードスイッチの設定について説明します。

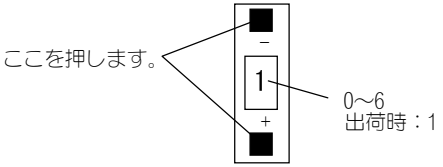
本製品の電源を切ってください

モードスイッチの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● モードスイッチの設定

本製品のモードスイッチで、動作モードとライトキャッシュについて設定します。

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



ライトキャッシュについて

有効(ON)にすると書き込みが速くなります。

通常はONにしてお使いください。

動作モードについて

通常は、MOモードでお使いください。

動作モードについては、【動作モードについて】(98ページ)を参照してください。

《モードスイッチ動作表》

モードスイッチ	動作モード	ライトキャッシュ	備考
0	HDDモード	ON	
1	**MOモード**	**ON**	**出荷時設定**
4	HDDモード	OFF	
5	MOモード	OFF	

取り付けよう

ここでは、本製品を取り付ける手順について説明します。



SCSIの制限があります

お使いのSCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、接続可能台数やSCSI接続ケーブル長の制限を超えていないことをご確認ください。

ケーブルやターミネータを接続するときは

まっすぐに接続してください。
無理な角度で接続するとピンが折れる場合があります。
接続の際は「カチッ」と音がするまで差し込み、軽く引っ張っても抜けないことをご確認ください。

1 SCSIインターフェイスを使えるようにします。

SCSIインターフェイスの取扱説明書をご参照になり、先にSCSIインターフェイスの設定をしてください。

2 SCSI機器に接続する場合は、ターミネータを取り外します。

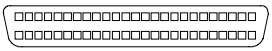
接続済みのSCSI機器に、本製品を接続する場合は、そのSCSI機器のSCSIコネクタに接続されているターミネータを取り外します。

3 SCSIコネクタにSCSI接続ケーブルを接続します。

SCSIインターフェイスの取扱説明書をご参照になり、先にSCSIインターフェイスの設定をしてください。

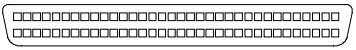
実際に接続するSCSIコネクタと見比べてお使いください。

本ページのコネクタ図はほぼ実物大です。



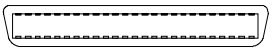
(D-subハーフピッチ50ピン)

本製品に添付のSCSI接続ケーブルをお使いください。



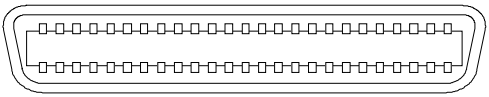
(D-subハーフピッチ68ピン)

本製品に添付のSCSI接続ケーブルとAD-SC/AW(D-subハーフピッチ50ピン⇒D-subハーフピッチ68ピン変換コネクタ)をお使いください。



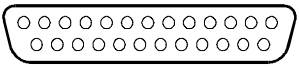
(アンフェノールハーフピッチ50ピン)

A50-H50など(D-subハーフピッチ50ピン⇔アンフェノールハーフピッチ50ピン)をお使いください。



(アンフェノールフルピッチ50ピン)

F50-A50など(アンフェノールフルピッチ50ピン⇔D-subハーフピッチ50ピン)をお使いください。



(D-sub25ピン)

お使いのSCSIインターフェイスに添付のSCSI接続ケーブル、またはお使いのSCSIインターフェイスの別売オプション品をお使いください。



(HDI30ピン)

AP30-A50など(HDI30ピン⇔D-subハーフピッチ50ピン) をお使いください。



(その他)

お使いのSCSIインターフェイスに付属しているSCSI接続ケーブル、もしくはお使いのSCSIインターフェイスの別売オプション品をお使いください。



案内されている弊社製SCSI接続ケーブル以外を使う場合

お使いになるSCSI接続ケーブルは、片方はSCSIインターフェイスや本製品の前にあるSCSI機器のコネクタの形状に、もう片方はD-subハーフピッチ50ピンのSCSIコネクタに接続できるものを選んでください。

4 本製品のSCSIコネクタにSCSI接続ケーブルを接続します。

接続したSCSI接続ケーブルのもう一方を、本製品のSCSIコネクタに、まっすぐに差し込みます。（左右どちらのSCSIコネクタでも可）

SCSIコネクタについて

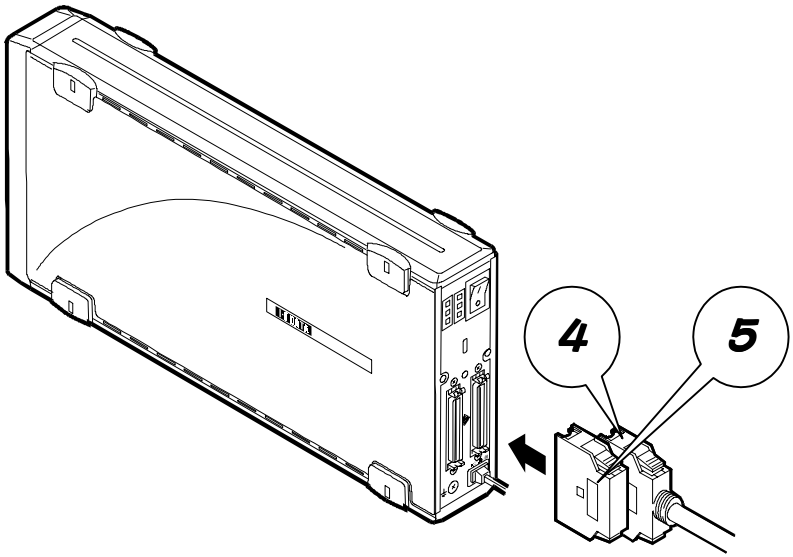
左右のSCSIコネクタに区別はありません。
SCSI接続ケーブルやターミネータをどちらに接続しても問題ありません。

5 本製品にターミネータを接続します。

本製品にあるもう一方のコネクタに、ターミネータをまっすぐに差し込みます。

ターミネータについて

本製品に接続するターミネータには「アクティブ・ターミネータ」をお使いください。



6 ACプラグを電源コンセントに接続します。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows XP	【Windows XPでお使いの場合】	次ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	25ページ
Windows Me	【Windows Me/98/95/NT 4.0でお使いの場合】	37ページ
Windows 98		
Windows 95		
Windows NT 4.0		
Windows NT 3.51	【Windows NT 3.51でお使いの場合】	47ページ
Windows 3.1	【Windows 3.1、DOSでお使いの場合】	55ページ
MS-DOS,PC DOS		
Mac OS	【Mac OSでお使いの場合】	67ページ

Windows XPでお使いの場合

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・１６

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・１７

本製品を使えるようにします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・２０

本製品を使う上での操作について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください

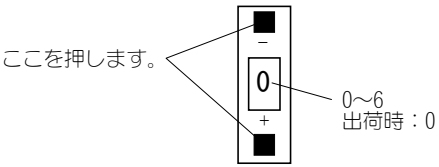
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。

（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

本製品のみを接続している場合

SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

複数のSCSI機器を接続している場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

使えるようにしよう

本製品を使えるようにするための手順について説明します。

CDメニューを表示する

サポートソフトのメニューを表示します。

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

3 ［光磁気ドライブ］アイコンを確認します。

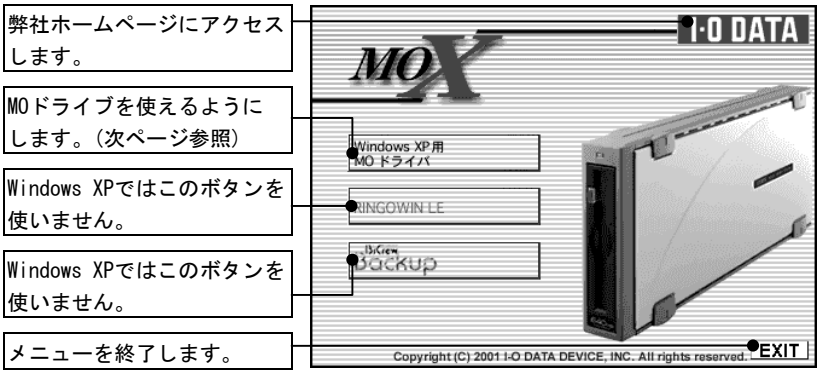


［光磁気ドライブ］アイコンがない

- ［リムーバブルディスク］アイコンになっていることがあります。
  その場合は、パソコンを再起動してからもう一度確認してください。
- 【本製品のアイコンが表示されない】(76ページ)をご覧ください。

4 「MOXシリーズユーティリティソフト」を挿入します。

5 自動的にCDメニューが表示されます。



自動的にCDメニューが表示されない場合は

「MOXシリーズユーティリティソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。



MOドライブを使えるようにする

6 Windows XP用 MOドライバ **をクリックします。**

7 **［次へ］ボタンをクリックします。**

8 **［インストール］ボタンをクリックします。**

9 **［完了］ボタンをクリックします。**

10 **再起動を行います。**

［はい］ボタンをクリックします。



以上で、本製品は使えるようになりました。

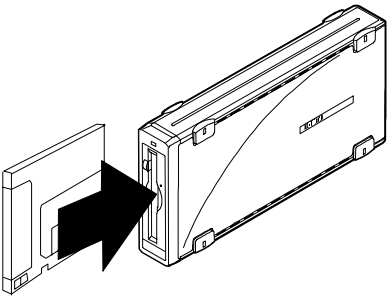
基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

●MOディスクを取り出す

すべてのユーザーで取り出したい場合は･･･

最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみMOディスクを取り出せます。

すべてのユーザーで、MOディスクを取り出したい場合は、【権限変更】(91ページ)をご覧ください。

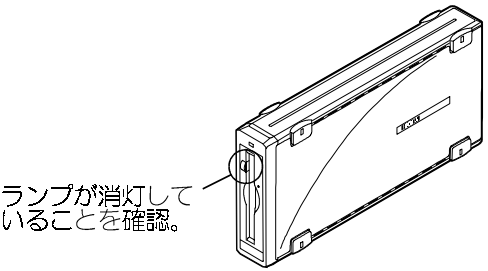
※ Home Editionをお使いの場合は、権限変更は出来ません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

すべてのユーザーでフォーマットしたい場合は･･･

最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットをすることができます。すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は、【権限変更】(91ページ)をご覧ください。

※ Home Editionをお使いの場合は、権限変更は出来ません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合

そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

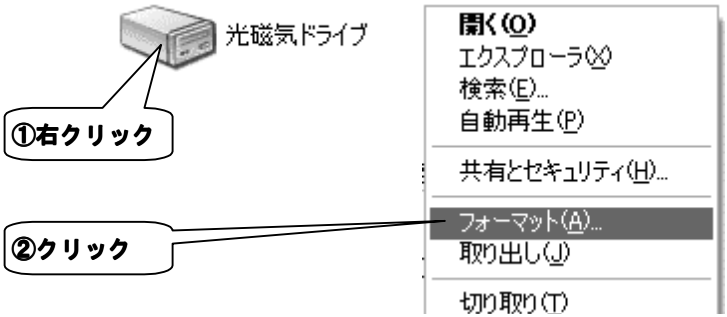
操作は、【●MOディスクを挿入する】(20ページ)をご覧ください。

2 「マイコンピュータ」を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。

①［光磁気ドライブ］アイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
②メニュー内の［フォーマット］をクリックします。



［光磁気ドライブ］アイコンがない

・［リムーバブルディスク］アイコンになっていることがあります。
その場合は、パソコンを再起動してからもう一度確認してください。
・【本製品のアイコンが表示されない】(76ページ)をご覧ください。

4 フォーマットの設定をします。

①［ファイルシステム］を設定します。

②［開始］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。



ファイルシステムの［NTFS］は使わないでください

MOディスクを正しく使うことができません。

［ファイルシステム］の設定

［FAT］　：通常、この方式でフォーマットしてください。

［FAT32］：この方式でフォーマットしたMOディスクはWindows 95などの古いOSで読めません。

［NTFS］　：設定しないでください。

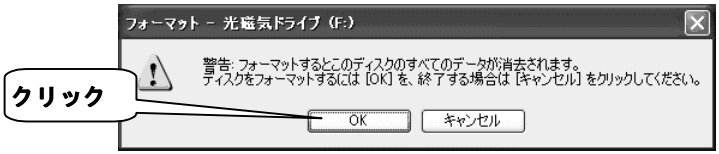
［クイックフォーマット］

これにチェックをつけると、一度フォーマットされているMOディスクを素早くフォーマットできます。

5 **［OK］ボタンをクリックします。**

⇒フォーマットが開始されます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



6 **［OK］ボタンをクリックします。**



7 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

Windows 2000でお使いの場合



フォーマットについて

MOディスクのフォーマットは、「MOディスクフォーマッタ」をお使いください。(33ページ参照)

MOドライブのアイコンを右クリックしての「フォーマット」はしないでください。

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・２６

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・２７

本製品を使えるようにします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・３１

本製品を使う上での操作について説明します。

ユーティリティについて ・・・・・・・・・・・・・・・３３

インストールしたユーティリティを使う方法について説明しています。

SCSI-IDを設定しよう

ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください

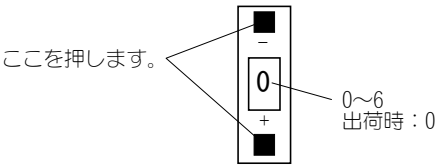
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。

（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

本製品のみを接続している場合

SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

複数のSCSI機器を接続している場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

使えるようにしよう

本製品を使えるようにするための手順について説明します。

CDメニューを表示する

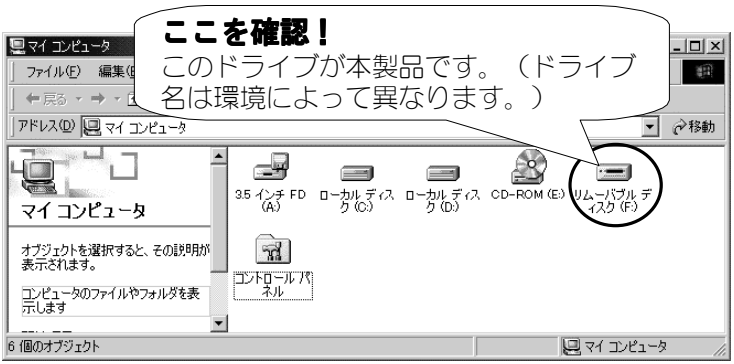
サポートソフトのメニューを表示します。

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 ［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。



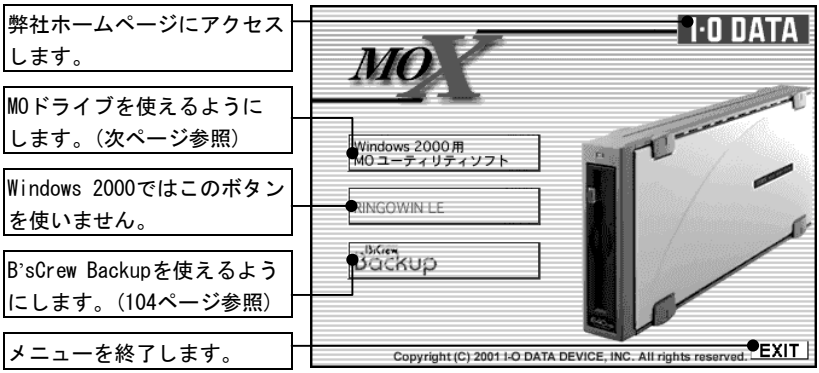
画面例：DOS/Vマシンの場合

［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(76ページ)をご覧ください。

3 「MOXシリーズユーティリティソフト」を挿入します。

4 自動的にCDメニューが表示されます。



参考

自動的にCDメニューが表示されない場合は

「MOXシリーズユーティリティソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。

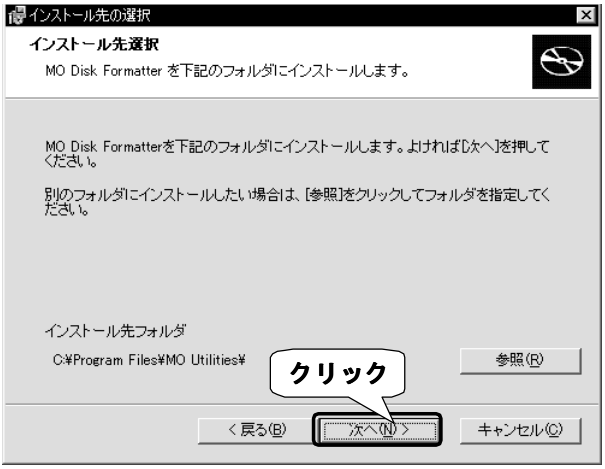


MOドライブを使えるようにする

5 Window2000用 MOユーティリティソフト **をクリックします。**

6 **［次へ］ボタンをクリックします。**

7 **［次へ］ボタンをクリックします。**



インストール先のフォルダを替えたい場合
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

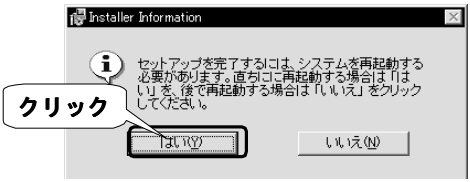
8 **［インストール］ボタンをクリックします。**
⇒README.TXTが開かれますので、お読みください。

9 **［完了］ボタンをクリックします。**

10 「MOXシリーズユーティリティソフト」を取り出します。

11 再起動を行います。

［はい］ボタンをクリックします。



以上で、本製品は使えるようになりました。

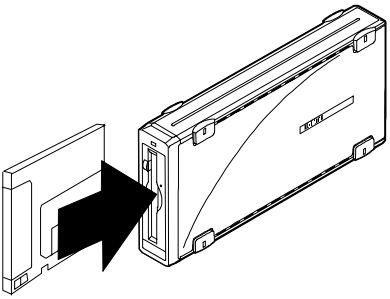
基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

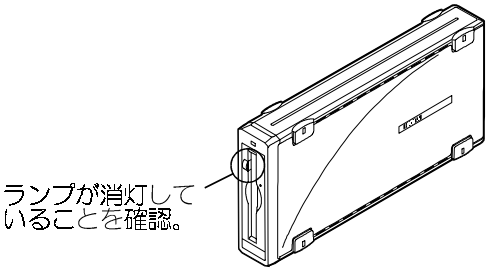
●MOディスクを取り出す

すべてのユーザーで取り出したい場合は･･･
最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみMOディスクを取り出せます。
すべてのユーザーでMOディスクを取り出したい場合は、【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(35ページ)をご覧ください。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。
⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

本製品によるフォーマットは、「MOディスクフォーマッタ」を使います。
次ページの【ユーティリティについて】をご覧ください。

ユーティリティについて

ここでは、インストールしたユーティリティを使う方法について説明しています。

インストールされたユーティリティ

インストールされたユーティリティは２つです。

MOディスクフォーマッタ ・・３３

MOディスクをフォーマットするためのユーティリティです。

フォーマット／イジェクト権限変更ツール ・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマットできます。しかし、このツールを使えば、ユーザー権限のユーザーでもMOディスクをフォーマットできます。

「MOディスクフォーマッタ」について

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、MOディスクをフォーマットできます。

参考



すべてのユーザーでフォーマットしたい場合は・・・

最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットをすることができます。すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は、【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(35ページ)をご覧ください。

1 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

2 本製品にMOディスクを挿入します。

3 本製品を選びます。

参考



ここで表示されるドライブ名は

FUJITSU MCE3064SS

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。
通常は、「フロッピィ形式(FAT16)」でフォーマットしてください。

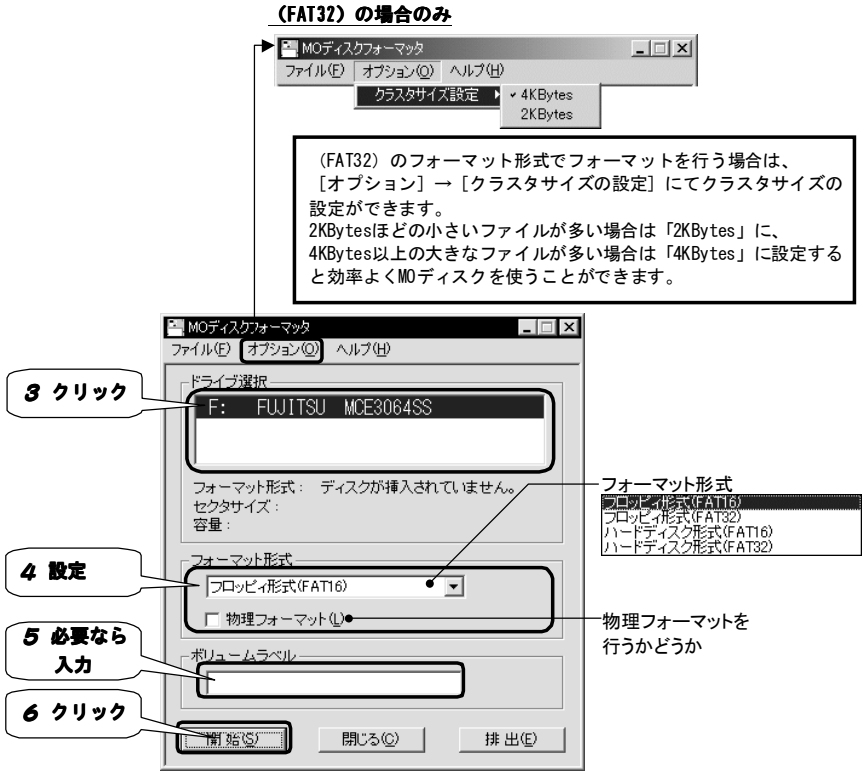
参考

フォーマット形式
「ハードディスク形式」は、必要でない方は使わないでください。
(FAT32)は、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSでは使えません。

通常、物理フォーマットする必要はありません
時間がかかるため、通常は物理フォーマットにチェックしないでください。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。



「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマットできます。

ユーザー権限のユーザーではこのツールは使えません

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」は、Administrator権限を持つユーザーのみ使うことができます。

1 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

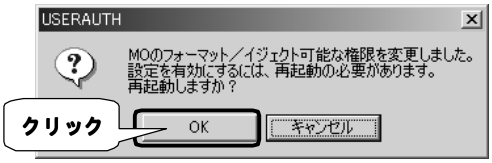
2 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



Memo

Windows Me/98/95/NT 4.0でお使いの場合

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・３８

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・３９

本製品を使えるようにします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・４３

本製品を使う上での操作について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください

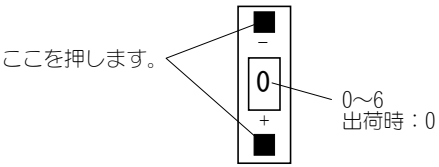
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。

（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

≪本製品のみを接続している場合≫

SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

≪複数のSCSI機器を接続している場合≫

●PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンの場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

●PC-9821シリーズの場合

・SCSIボードに接続してお使いの場合

SCSI機器は0から連続して設定してください。

例）SCSI-ID=0：HDD

SCSI-ID=**1**：本製品

SCSI-ID=2：CD-ROM

・SCSI PCカードに接続してお使いの場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

使えるようにしよう

本製品を使えるようにするための手順について説明します。

すでに弊社製ドライブをお使いの方は

既に弊社製MOドライブ(MOP-230を除く)をお使いの場合は、ドライバの削除を実行してください。

本製品のドライバのインストールが終われば、他の弊社製MOドライブも問題なくお使いいただけます。

MOドライブの情報の削除方法については、各取扱説明書をご覧ください。

サポートソフトのメニューを表示します。

1 周辺機器・パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

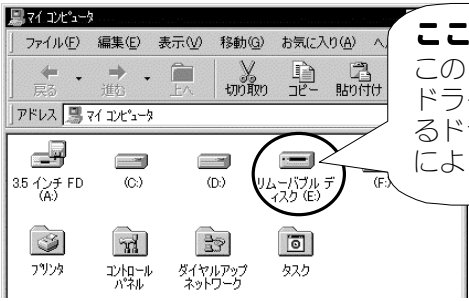
周辺機器（本製品を含む）の電源を入れてから、パソコンの電源を入れて、OSを起動します。

Windows NT 4.0の場合

Administrator権限のあるユーザーでログインしてください。

2 [リムーバブルディスク]アイコンを確認します。

[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、[リムーバブルディスク]アイコンを確認します。



ここを確認！
このドライブが本製品のドライブです。（表示されるドライブ名はご使用環境によって異なります。）

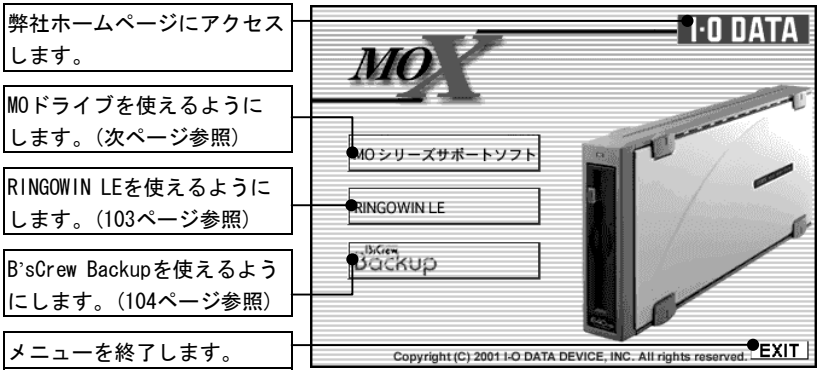
画面例：DOS/Vマシンの場合

[リムーバブルディスク]アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(76ページ)をご覧ください。

3 「MOXシリーズユーティリティソフト」を挿入します。

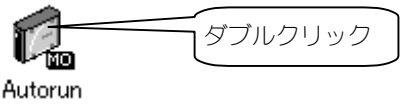
4 自動的にCDメニューが表示されます。



参考

自動的にCDメニューが表示されない場合は

「MOXシリーズユーティリティソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。



MOドライブを使えるようにする

5 MOシリーズサポートソフト をクリックします。

6 弊社製 MOA-i/1394シリーズをお使いなのかを確認します。

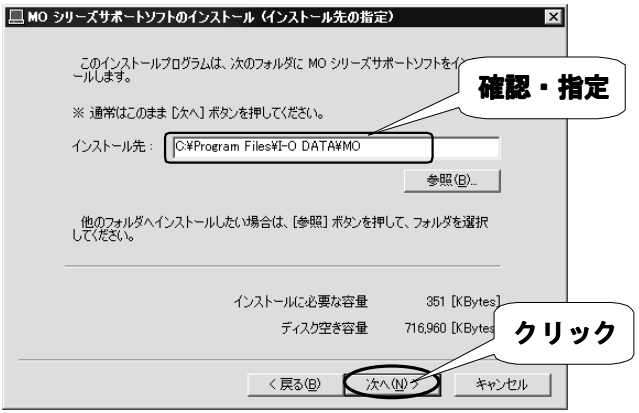
弊社製「MOA-i/1394シリーズ」をお使いかどうかでクリックするボタンが変わります。

お使いの場合　　［はい］ボタンをクリックします。
お使いでない場合　［いいえ］ボタンをクリックします。



7 ［次へ］ボタンをクリックします。

8 ［次へ］ボタンをクリックします。

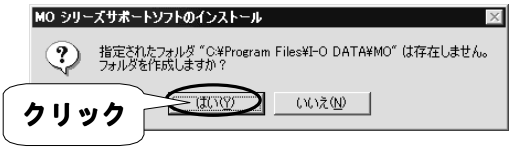


インストール先のフォルダを替えたい場合

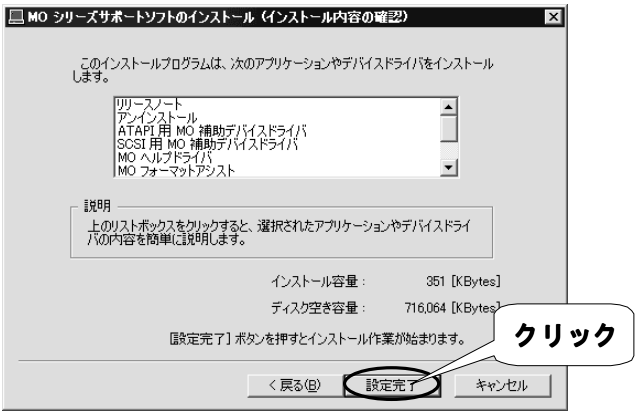
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

9 この画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

⇒本製品のサポートソフトを入れるためのフォルダが作られます。



10 ［設定完了］ボタンをクリックします。



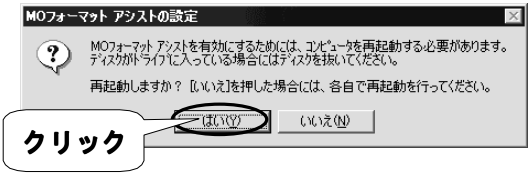
リストと説明について

上のリスト内のインストールされる項目を選択すると、下の説明ボックス内に選択した項目の説明が表示されます。

11 ［完了］ボタンをクリックします。

12 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンを再起動します。



以上で、本製品は使えるようになりました。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクをフォーマットする	45ページ

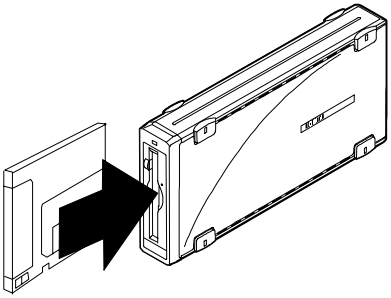
●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



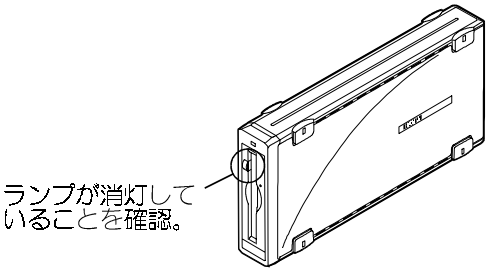
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合

そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

8 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、【●MOディスクを挿入する】(43ページ)をご覧ください。

9 「MOフォーマット」を起動します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された［MOフォーマット］をクリックします。



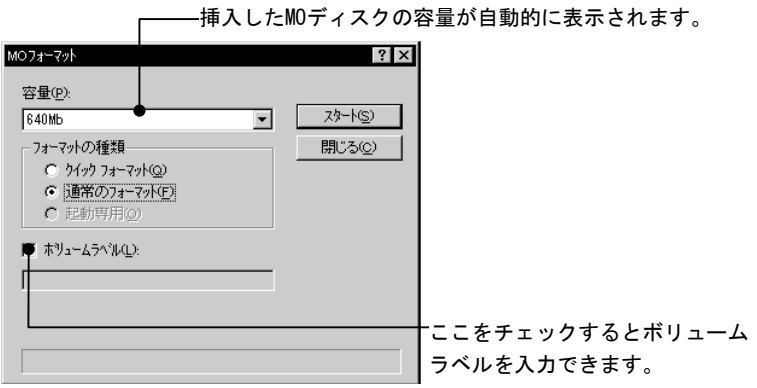
［フォーマット］の表示について

右クリックしたときに表示されるメニューの中に［フォーマット］が含まれる場合があります。
通常通り、［MOフォーマット］をクリックしてください。

［MOフォーマット］が表示されない

【［MOフォーマット］が表示されない】(81ページ)をご覧ください。

10 フォーマットの種類を選びます。



参考

フォーマットの種類について

クイックフォーマット

通常のフォーマットより早く終わります。
一度フォーマットしたことのあるMOディスクに行えます。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、選択しないでください。

通常のフォーマット

購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に選択します。

起動専用

本製品では使いません。
灰色で表示され、選択することはできません。

11 [スタート] ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。

12 [閉じる] ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが自動的に排出され、フォーマット結果が表示されます。

13 [閉じる] ボタンをクリックします。

以上で、フォーマットは終了です。

参考

フォーマットしたMOディスクには

スキャンディスクをかけることをおすすめします。

Windows NT 3.51でお使いの場合

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・４８

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・４９

本製品を使えるようにします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・５１

本製品を使う上での操作について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください

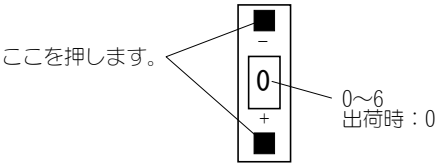
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。

（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

≪本製品のみを接続している場合≫

SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

≪複数のSCSI機器を接続している場合≫

●PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンの場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

●PC-9821シリーズの場合

・SCSIボードに接続してお使いの場合

SCSI機器は0から連続して設定してください。

例）SCSI-ID=0：HDD

SCSI-ID=**1**：本製品

SCSI-ID=2：CD-ROM

・SCSI PCカードに接続してお使いの場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

使えるようにしよう

本製品を使えるようにするための手順について説明します。

1 周辺機器の電源を入れ、Windows NT 3.51を起動します。



起動途中でパソコンが止まる場合は・・・
SCSI-IDが重なっているか、SCSIケーブルや電源ケーブル等が正しく取り付けられていないことが考えられます。再度ご確認ください。

2 ［コントロールパネル］内の［デバイス］を起動します。

プログラムマネージャで［メイン］グループから［コントロールパネル］を開き、［デバイス］を起動します。

3 ［Scsimo］を選択します。

4 ［スタートアップ］ボタンをクリックします。

5 ［ブート］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［はい］ボタンをクリックします。

7 ［終了］ボタンをクリックします。

8 ［コントロールパネル］を終了します。

9 ［ディスクアドミニストレータ］を起動します。

プログラムマネージャで［管理ツール］グループから［ディスクアドミニストレータ］を起動します。
（起動時に［ディスクnに署名がありません。…］と表示されたら、
［OK］ボタンをクリックします。
※ nにはドライブ名が入ります。）

10 ［光磁気ディスク ドライブ文字］を選択します。

［ツール］を選択し、メニューから［光磁気ディスク ドライブ文字］を選択します。

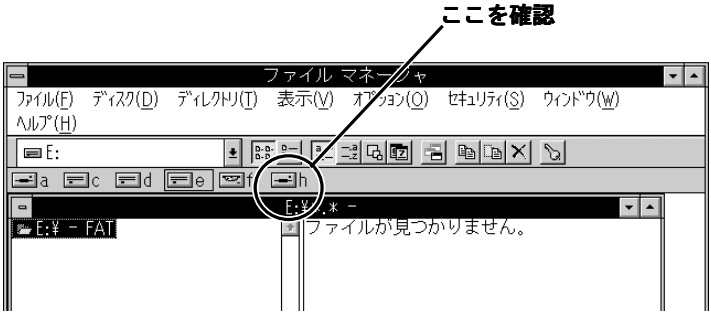
11 ドライブ文字を選択し、［変更］ボタンを押します。

本製品に割り当てるドライブ文字を選択し、［変更］ボタンを押します。

12 ［はい］ボタンをクリックします。

13 本製品が表示されていることを確認します。

本製品がファイルマネージャ内に表示されていることを確認します。



以上で、本製品は使えるようになりました。

参考

Windows NT 4.0へアップグレードをする際には・・・

【サポートソフトの削除】(94ページ)の作業をしたのち、アップグレードをしてください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

640Mバイトの MOディスクについて
DOS/Vマシンの場合　　：使えません。
PC-9821シリーズの場合：フォーマット済みのものをお使いください。

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクをフォーマットする	53ページ

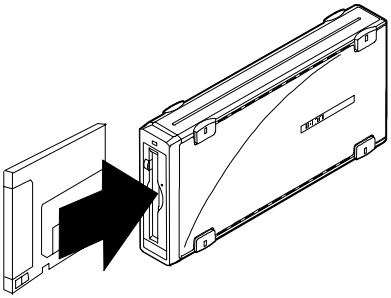
●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



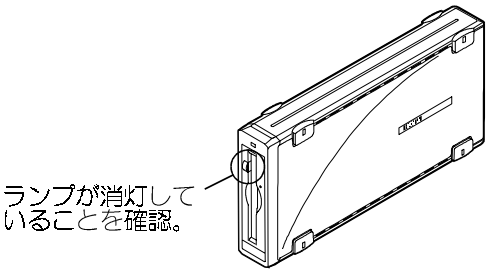
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする



MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合

そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

フォーマット形式について

MOディスクは、FATフォーマットでのみフォーマットすることができます。
NTFSファイルシステムでフォーマットしないでください。

540MバイトのMOディスクについて

「ファイルマネージャ」からはフォーマットすることはできません。
MS-DOSプロンプトから、「FORMAT」コマンドによりフォーマットできます。
詳細については、「FORMAT /?」と入力してご確認ください。

1 ［ファイルマネージャ］を起動します。

2 ［フロッピーディスクのフォーマット］を実行します。

［ディスク］メニューの［フロッピーディスクのフォーマット］を実行します。

3 ドライブと容量を確認し、フォーマットを行います。

通常は、［クイックフォーマット形式］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



物理フォーマットをする場合

［クイックフォーマット形式］のチェックを外して、［OK］ボタンをクリックします。

Memo

Windows 3.1、DOSでお使いの場合

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・５６

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・５８

本製品を使えるようにします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・６２

本製品を使う上での操作について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

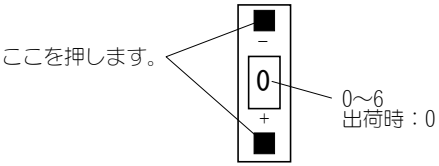
ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。
（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

≪DOS/Vマシンの場合≫

●本製品のみを接続している場合
SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

●複数のSCSI機器を接続している場合
他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

≪PC-9821シリーズの場合≫

※ SCSI PCカードに接続する場合は、DOS/Vマシンと同じ設定になります。

●本製品のみを接続している場合
SCSI-ID=**1**：本製品

●複数のSCSI機器を接続している場合
他のSCSI機器は0から連続して設定してください。
本製品は、それらから1つ離してSCSI-IDを設定してください。
例）SCSI-ID=0：HDD
SCSI-ID=1：CD-ROM
SCSI-ID=3：本製品



AHA-2940AUシリーズをお使いの場合

PC-9821シリーズでお使いの場合、接続するSCSI機器が本製品だけでは使えません。

本製品以外にもう１台のSCSI機器が必要です。

ただし、640MバイトのMOディスクを使わない場合はお使いいただけます。

例)SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

使えるようにしよう

本製品を使えるようにするための手順について説明します。



DOS/Vマシンで使う場合は

本手順の前にSCSIインターフェイス付属のASPIマネージャを組み込んでください。

詳しくは、お使いのSCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

SCSI PCカードに接続する場合は

本手順の前にSCSI PCカードのドライバを組み込んでください。

組み込み方法はお使いのSCSI PCカードの取扱説明書をご参照ください。

1 周辺機器の電源を入れ、DOSを起動します。

Windows 3.1が起動した場合は終了してください。

Windows 3.1のDOSプロンプトでは実行できません。



起動途中でパソコンが止まる場合は・・・

SCSI-IDが重なっているか、SCSIケーブルや電源ケーブル等が正しく取り付けられていないことが考えられます。再度ご確認ください。

2 「MOシリーズサポートソフト」を挿入します。

3 インストーラを起動します。

下記のように入力して、↵キーを押します。

A:¥DOS¥INSTALL

（フロッピードライブがAドライブの場合の例）

4 ↵キーを押します。

5 ↵キーを押します。

6 インストール先を入力し、↵キーを押します。

通常はそのまま↵キーを押します。

7 [Y] キーを押します。

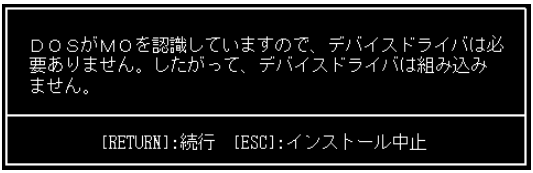
8 [Y] キーを押します。

9 接続状況により、以下の2通りの画面が表示されます。

《画面１》の場合

そのまま↵キーを押します。

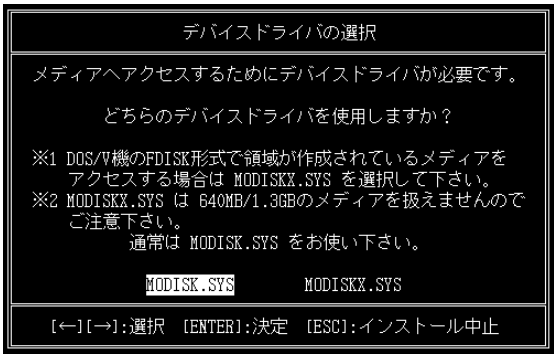
《画面１》



《画面２》の場合

DOS/Vマシンで複数パーティションに区切られたMOディスクをお使いの場合は[MODISKX.SYS]を、その他の場合は[MODISK.SYS]を選んで、↵キーを押します。

《画面２》



10 起動ドライブ名を確認し、↵キーを押します。

起動ドライブ名（環境ファイルがあるドライブ）を確認します。

11 ［はい］を選び、↵キーを押します。

12 「MOシリーズサポートソフト」を抜きます。

13 パソコンを再起動します。



MOディスクが入っている場合は、抜いてください

MOディスクの確認をする際には、MOディスクを抜いてください。

14 MOドライブを確認します。

《Windows 3.1の場合》

ファイルマネージャで本製品のドライブが増えていることを確認します。

《MS-DOS(PC DOS)の場合》

以下のように入力し、↵キーを押します。
接続状態とドライブ名が表示されますので、確認します。

通常	MOUTL L
PC-9821シリーズで SCSI PCカードに接続	MOUTL L /ASPI

15 CONFIG.SYSの内容を確認します。

以下の例は、標準のインストール先ディレクトリの場合です。
また、DOS/VマシンはCドライブ、PC-9821シリーズはAドライブにインストールした例です。

《DOS/Vマシンの場合》

以下の1行が追加されています。

・MODISK.SYSの登録を選んだ場合

DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS /ID=xy

・MODISKX.SYSの登録を選んだ場合

DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISKX.SYS /ID=xy /PARTITION=z

《PC-9821シリーズの場合》

以下の1行が追加されています。

DEVICE=A:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS /ID=xy

（xはホストアダプタ番号、yはターゲットID、zはパーティション数）



マルチコンフィグ機能を使っている場合

CONFIG.SYSに設定されたSCSIデバイス用の記述を[COMMON]領域（または各環境領域）に移動してください。

PC-9821シリーズでSCSI PCカードに本製品を接続している場合

さらに「/ASPI」と付けてください。

例） DEVICE=A:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS /ID=xy /ASPI

16 AUTOEXEC.BATの内容を確認します。

以下の例は、標準のインストール先ディレクトリの場合です。
また、DOS/VマシンはCドライブ、PC-9821シリーズはAドライブに
インストールした例です。

《DOS/Vマシンの場合》

以下の1行が追加されます。

PATH=C:¥DDEV¥MOD;%PATH%

《PC-9821シリーズの場合》

以下の1行が追加されます。

PATH=A:¥DDEV¥MOD;%PATH%

以上で、本製品は使えるようになりました。



本製品のSCSI-IDを変更した場合

もう一度インストールをしてください。

他のOSへアップグレードをする際には・・・

下の作業をしたのち、アップグレードをしてください。

・CONFIG.SYSから、「MODISK.SYS(またはMODISKX.SYS)」,「ATASPI.EXE」を含む行を削除してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクをフォーマットする	64ページ

●MOディスクを挿入する

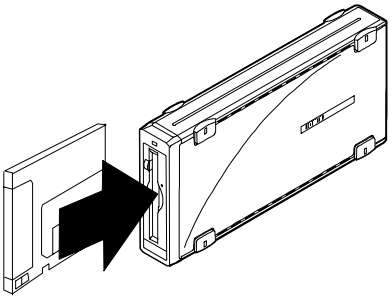
1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

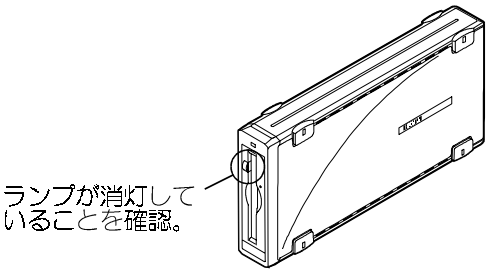


●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 イジェクトボタンを押します。

⇒MOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする



MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 MOUTLを起動します。

下記のように入力し、↵キーを押します。

通常	MOUTL
PC-9821シリーズで SCSI PCカードに接続	MOUTL /ASPI

2 本製品を選び、↵キーを押します。

接続されているMOドライブが表示されるので、[↑][↓]キーで対象の本製品を選び、↵キーを押します。

3 本製品にMOディスクを挿入します。

アクセスランプが一度点灯して消灯することを確認します。

4 [フォーマット]を選び、↵キーを押します。

[↑] [↓] キーで選択します。

5 項目を選びます。

[↑] [↓] [←] [→] キーで選択します。

- **物理フォーマット**：通常は[しない]を選びます。
- **論理フォーマット**：通常は[IBMフォーマット]を選びます。
- **システム転送**　：PC-9821シリーズのみ可能です。
  起動MOディスクを作るときに[する]を選びます。
  640Mバイトのディスクに対しては行えません。
- **ボリュームラベル**：ラベル名を指定したいときに入力します。

6 「実行」にカーソルを合わせ、↵キーを押してください。

⇒フォーマットを開始します。

7 ↵キーを押し、［ESC］キーを何度か押します。

フォーマットが終わるとMOディスクが排出されるので↵キーを押すと、手順**2** の画面に戻ります。

DOSプロンプト状態になるまで[ESC]キーを押します。

Memo

Mac OSでお使いの場合



別途フォーマッタソフトが必要です。
本製品を使うには、別途フォーマッタソフトが必要です。
本製品を使う前にフォーマッタソフトをインストールしてください。

SCSI-IDを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・・６８

SCSI-IDを設定する方法を説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・７０

本製品を使う上での操作について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

ここでは、本製品のSCSI-IDの設定について説明します。

本製品の電源を切ってください

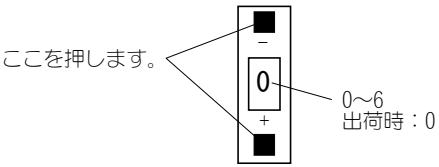
SCSI-IDの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。

（7は通常SCSIインターフェイスが使用）

図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント

本製品のみを接続している場合

SCSI-ID=**1**：本製品

複数のSCSI機器を接続している場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

1,2,4,6は、Macintoshに搭載されているSCSI機器に使われていません。

1,2,4,6が他のSCSI機器に使われている場合は、次ページの表をご覧になり、使われていないSCSI-IDをご確認ください。

●Macintoshシリーズが既に使っているSCSI-ID

Macintoshで使われているSCSI-IDを記載します。

この表に記載されているSCSI-IDは使わないでください。

[デスクトップ]

使用SCSI-ID	機 種 名
7※1	PowerMacintosh G3 DTｼﾘｰｽﾞ,MTｼﾘｰｽﾞ PowerMacintosh 9600,9515,9500,8600,8515,8500,8115, 8100,7600,7500,7300,5500,4400 twentieth anniversary Macintosh Quadra 950,900 LC630※2
0、7	Quadra 800※2,700 Centris 650※2,610※2 Macintosh Ⅱｼﾘｰｽﾞ(Ⅱを除く,またvi,vxはCDなしモデルの場合) LC Ⅱ,Ⅲ,475 Performa 275 Color Classic Ⅰ,Ⅱ SE/30 Classic Ⅱ
3、7	PowerMacintosh 6300,6200 LC630※3 Performa 6000ｼﾘｰｽﾞ,5000ｼﾘｰｽﾞ,630,588
0、3、7	PowerMacintosh 7215,7200,7100,6100 Quadra 840AV,800※3,660AV,650,610 Centris 650※3,610※3 Macintosh Ⅱ vi※3,vx※3 Performa 575,550,520 LC575,520

※1……Zipドライブを搭載している場合は、さらにSCSI-IDの５を使っています。
※2……CD-ROMドライブなしのモデル
※3……CD-ROMドライブ搭載モデル

[PowerBook（ノート）]

使用SCSI-ID	機 種 名
7	PowerBook G3ｼﾘｰｽﾞ※4 PowerBook G3/250,3400,2400,1400,1000,190
0、7	PowerBook Duoｼﾘｰｽﾞ（別途SCSIポートのあるﾄﾞｯｷﾝｸﾞｽﾃｰｼｮﾝが必要） PowerBook 500ｼﾘｰｽﾞ,100ｼﾘｰｽﾞ（100,190を除く）

※4……標準SCSIポート搭載機種のみ対応。

基本操作について

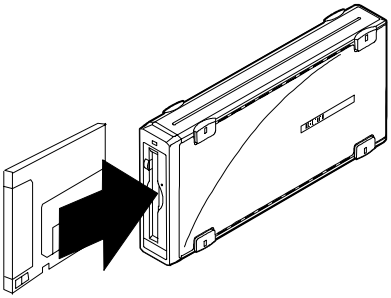
本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	次ページ
●MOディスクを初期化する	71ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

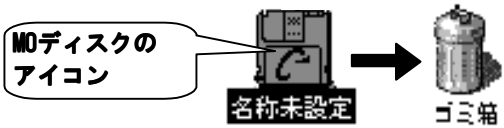
●MOディスクを取り出す

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(78ページ)をご覧ください。

MOディスクのアイコンについて
MOディスクのアイコンは用意されているフォーマッタによって異なります。

●MOディスクを初期化する

フォーマッタソフトについて
本製品にはフォーマッタソフトは添付されておりません。
別途ご準備いただいた上、MOディスクのイニシャライズをしてください。

初期化（イニシャライズ）については、フォーマッタソフトの取扱説明書をご覧ください。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・７４

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

権限変更 ・・・・・・・・・・・・・・・９１

Windows XPで権限を変更する方法について説明します。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・９４

サポートソフトの削除方法を説明します。

動作モードについて ・・・・・・・・・・・・・・・９８

本製品の動作モードについて説明します。

MOディスクから起動する ・・・・・・・・・・・・１００

MOディスクから起動する方法について説明します。

RINGOWIN LE ・・・・・・・・・・・・１０３

RINGOWIN LEについて説明します。

B'sCrew Backup for Windows ・・・・・・・・・・・・１０４

B'sCrew Backup for Windowsについて説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・１０６

本書内の用語を説明します。

オプション品 ・・・・・・・・・・・・１０８

本製品のオプション品をご紹介します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・１０９

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	７６
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	７７
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクにファイルの書き込みができない	
MOディスクを取り出せない	７８
パソコンが起動しない	

Windows XP/2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	７９
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない	
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	８０
十分な空き容量があるのに書き込みができない	

Windows Me/98/95/NT 4.0でのトラブル

[MOフォーマット] が表示されない	８１
ファイルの読み書きができない	８２
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	
インストール中にエラー画面が表示される(Windows 98 SEのみ)	８３
十分な空き容量があるのに書き込みができない	
Windows Meを終了できない	８４
MOディスクの交換が認識されない（Windows NT 4.0のみ）	

Windows 3.1およびDOSでのトラブル

ファイルの読み書きができない	８６
640Mバイト以上のMOディスクにアクセスできない	８７

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	８８
640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された	
MOディスクを初期化できない	
640Mバイト以上のMOディスクからMac OSを起動できない	８９
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	９０

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因1 **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因2 **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(70ページ参照)

原因3 **正しく接続されていない**

【取り付けよう】(11ページ)をご覧になり、接続を確認してください。

原因4 **SCSIインターフェイスが正常に認識されていない**

SCSIインターフェイスが正常に認識されているかをご確認ください。

方法については、SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

原因5 **ハードディスクにフォーマットされていない領域がある**

フォーマットされていない領域のあるハードディスクがある場合は、フォーマットされていない領域をフォーマットしてください。

フォーマットが終わりましたら、OSを再起動してください。

原因6 **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98/95のみ)**

【ドライブ名の予約】(85ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因１ **ケーブルが長い、もしくは品質が悪いため、ノイズの影響を受けている**

SCSIインターフェイスボードの設定で、本製品のSCSI-IDの同期転送速度を下げてみてください。（詳細は、お使いのSCSIインターフェイスボードの取扱説明書参照）
また、SCSIケーブルを短いものに変更してみてください。

原因２ **本製品のヘッドが汚れている**

【必ずお守りください】（iページ）をご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを取り出せない

原因１ パソコンの電源が入っていない(Mac OSのみ)

パソコンの電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２ 本製品の電源が入っていない

本製品の電源を入れた状態で、取り出し作業をしてください。

原因３ 機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコンの電源を切ってから、MOドライブの電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25mmほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

パソコンが起動しない

原因 設定や接続が正しくない

取り付け方法やSCSI-IDの設定を確認してください。
詳しくは、【取り付けよう】(11ページ)や【SCSI-IDを設定しよう】(16, 26, 38, 48, 56, 68ページ)をご覧ください。

Windows XP/2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される (Windows 2000のみ)

原因 **MOディスク内のファイルを開いている**

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない

原因 **権限を変更していない**

Windows XP/2000は、そのままではAdministrator権限以外にてMOディスクのフォーマット／イジェクトをすることはできません。

Windows XP

【権限変更】(91ページ)をご覧になり、設定を下記にします。

「Administrators と Interactive Users」

※ Home Editionでは、権限を変更できません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

Windows 2000

【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(35ページ)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因

本製品では、NTFSのフォーマットは使えない

本製品では、NTFS形式でフォーマットされたMOディスクはお使いいただけません。

十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因

ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。
その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。
作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

Windows Me/98/95/NT 4.0でのトラブル

[MOフォーマット]が表示されない

原因1 **MOディスクが挿入されていない(Windows NT 4.0のみ)**

MOディスクを本製品に挿入してください。

原因2 **アドミニストレータ権限でログインしていない(Windows NT 4.0のみ)**

アドミニストレータ権限のあるユーザーでログインしてください。

原因3 **正しくインストールされていないか、設定が正しくない**

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【使えるようにしよう】(39ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(94ページ)の作業を行い、その後、もう一度【使えるようにしよう】(39ページ)をしてください。

原因4 **SCSIインターフェイスの設定が正しくない**

SCSIインターフェイスが正しく認識されているかをご確認ください。方法については、SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

ファイルの読み書きができない

原因　MOディスクのフォーマット形式が異なっている

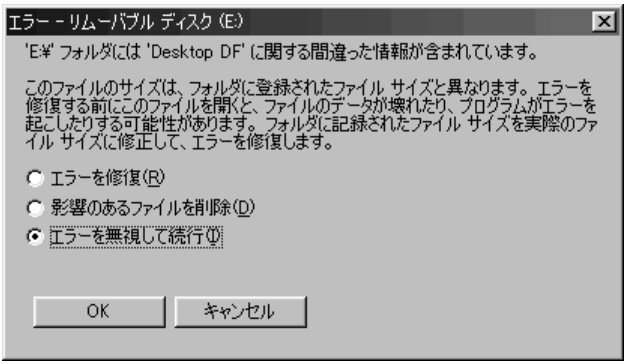
1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【●MOディスクをフォーマットする】(45ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全て無くなります）

2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、「RINGOWIN LE」を使ってください。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因　そのMOディスクを一度Macintoshで使っている

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



インストール中にエラー画面が表示される(Windows 98 SEのみ)



原因 **MOA-i/1394シリーズを使っていないのに、［はい］ボタンをクリックした**

MOA-i/1394シリーズをすでにお使いの場合、上の画面が表示されることはありません。［OK］ボタンをクリックし、もう一度【使えるようにしよう】(39ページ)の作業をしてください。
その際、手順**6**で［いいえ］をクリックしてください。

十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因 **ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている**

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。
その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。
作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

Windows Meを終了できない

原因 **FAT32にフォーマットされたMOディスクを使った**

Windows 2000などにてFAT32にフォーマットされたMOディスクを、使用するとWindowsを終了できない場合があります。
MOドライブからMOディスクを取り出し、「マイコンピュータ」などからMOドライブにアクセスし、その後でWindows Meを終了してください。

MOディスクの交換が認識されない（Windows NT 4.0のみ）

原因 **MOディスク内のファイルを開いている**

Windows NT 4.0でMOディスクを交換した場合、交換後のMOディスクの情報が正しく表示されない場合があります。この場合以下の手順でMOディスクを再認識させる必要があります。

1 ［プロパティ］を開きます。

［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックしてください。交換したMOディスクの情報になっていれば認識できています。

2 「ディスクアドミニストレータ」を開きます。

［スタートメニュー］→［管理ツール］→［ディスクアドミニストレータ］を起動します。交換したMOディスクの情報になっていれば認識できています。

3 上記で認識されない場合は、再起動します。

MOディスクの交換が正しく認識されてない場合は、Windows NT 4.0を再起動してください。

ドライブ名の予約

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 ［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

5 「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。



「MOドライブのドライバ」の表示
FUJITSU MCE3064SS

6 ［設定］タブをクリックします。

7 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 ［OK］ボタンをクリックします。

10 Windowsを再起動します。

Windows 3.1およびDOSでのトラブル

ファイルの読み書きができない

原因1　MOディスクが挿入されていない

【基本操作について】(62ページ)を参照してください。

原因2　MOディスクのフォーマット形式と本製品の動作モードが異なっている

MOディスクの形式にあったモードに設定してください。
(【モードを設定しよう】(10ページ)参照)

原因3　使えないフォーマット形式のMOディスクである

1)そのフォーマット形式のパソコンと併用しない場合は、
【●MOディスクをフォーマットする】(64ページ)を参照し、フォーマットしてお使いください。(データは全てなくなります)

2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、付属の「RINGOWIN LE」を使ってください。(103ページ)

原因4　フォーマットされていない

【●MOディスクをフォーマットする】(64ページ)を参照し、フォーマットしてお使いください。

原因5　MOディスクが壊れている

別のMOディスクを使って読み書きできるかを確認してください。

640Mバイト以上のMOディスクにアクセスできない

原因１ SCSI-IDの設定が正しくない

【SCSI-IDを設定しよう】(56ページ)を参照してください。

原因２ 「MODISKX.SYS」を使っている

「MODISK.SYS」を使ってください。
「MODISKX.SYS」では640Mバイトの MOディスクを使うことはできません。

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 **DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした**

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 **Mac OSの仕様のため**

640Mバイト以上のMOディスク上に対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。

MOディスクを初期化できない

原因 **AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている**

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

640Mバイト以上のMOディスクからMac OSを起動できない

原因1 640Mバイト以上のMOディスクで起動できない機種を使っている

PowerMacintosh G3(Blue and White)/G4シリーズ、PowerBook G3(Bronze Keyboard)では、640Mバイト以上のMOディスクで起動できません。

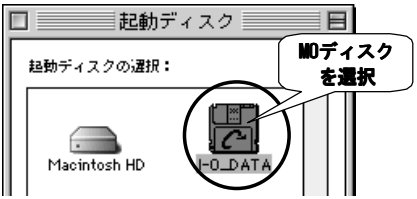
原因2 MOディスクが「起動ディスク」に設定されていない

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 [起動ディスク]を開きます。

[Appleメニュー]→[コントロールパネル]→[起動ディスク]をクリックします。

3 MOディスクを選択します。



4 [起動ディスク]を閉じます。

原因3 フォーマッタソフトでイニシャライズしていない

フォーマッタソフトでイニシャライズをしてください。[ディスクの初期化]で初期化したMOディスクは、起動に使えません。

原因4 SCSIインターフェイスが起動に対応していない

起動に対応しているかどうかは、お使いのSCSIインターフェイスの製造メーカーにお問い合わせください。

原因5 MOディスクにOSがインストールされていない

MOディスクにOSが入っていません。

データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因1 File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因2 認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

権限変更

ここでは、Windows XPで権限を変更する方法について説明します。
この設定をすれば、Administrator権限以外のユーザーでもMOディスクをフォーマット／取り出しできるようになります。

Administrator権限以外のユーザーは･･･
通常では、MOディスクのフォーマット／取り出しはできません。

Home Editionでお使いの場合
権限変更は出来ません。
コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

Windows 2000でお使いの場合
【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(35ページ)をご覧ください。

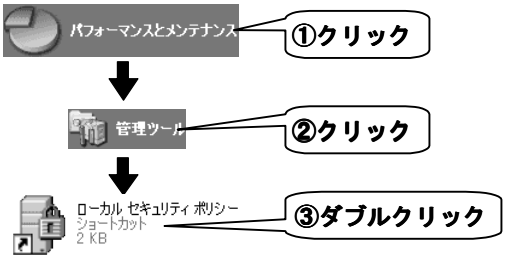
1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 「コントロールパネル」を開きます。

［スタート］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
⇒［コントロールパネル］が開かれます。

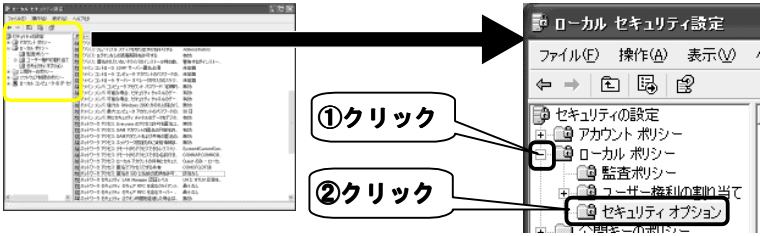
3 ［ローカルセキュリティ設定］を開きます。

①［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。
②［管理ツール］をクリックします。
③［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。
⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。



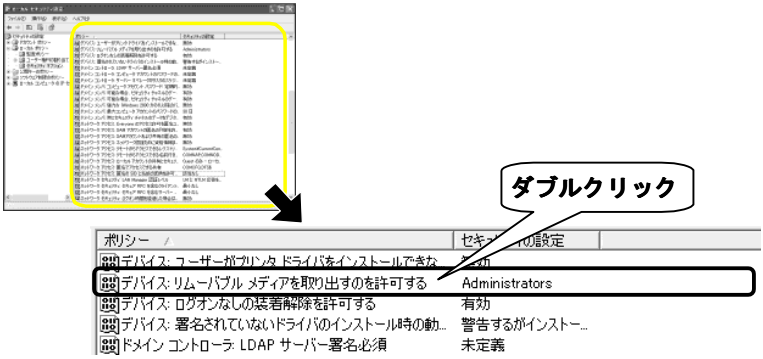
4 「セキュリティオプション」を開きます。

①［ツリー］内にある［ローカルポリシー］の左横の ⊞ をクリックします。
⇒ ⊟ になり、［ローカルポリシー］の下が表示されます。
②表示された［セキュリティオプション］をクリックします。
⇒右側に「セキュリティオプション」の内容が表示されます。



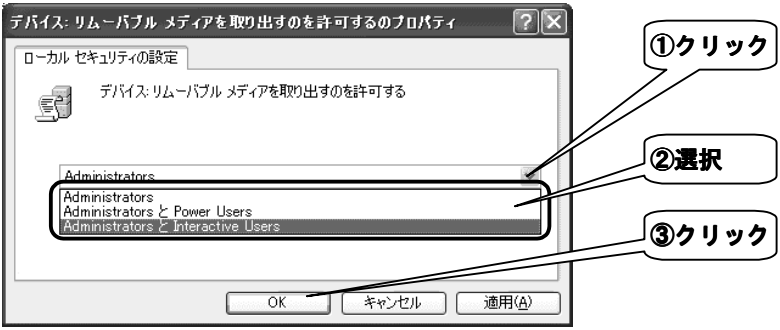
5 「デバイス：リムーバブルメディアを･･･」を開きます。

［デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。



6 ローカルポリシーの設定を変更します。

①［ローカルセキュリティの設定］の中にある▼をクリックします。
⇒下に変更内容が表示されます。
② 希望する設定を選択します。
③［OK］ボタンをクリックします。



ローカルポリシーの設定について

フォーマット／取り出しを許可するユーザーのレベルによって設定が異なります。

・管理者のみ　→　[Administrators]
・全ての人　→　[Administrators と Interactive Users]

7 「ローカルセキュリティ設定」を閉じます。

右上の☒をクリックします。
⇒「ローカルセキュリティ設定」が閉じます。

8 パソコンを再起動します。

⇒以上で、フォーマット／取り出しできる権限が変更されました。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

Windows XPの場合

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 「アプリケーションの追加と削除」を起動します。

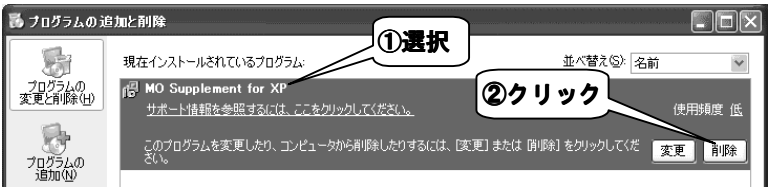
①［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

②［プログラムの追加と削除］をクリックします。

3 ［MO Supplement for XP］を指定します。

①［MO Supplement for XP］を選択します。

②［削除］ボタンをクリックします。

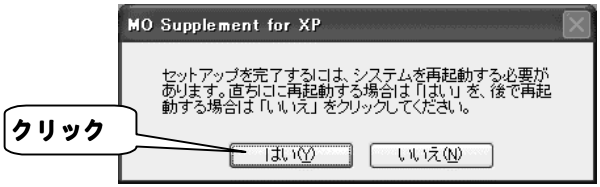


4 ［はい］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。これでサポートソフトの削除は完了です。



Windows 2000の場合

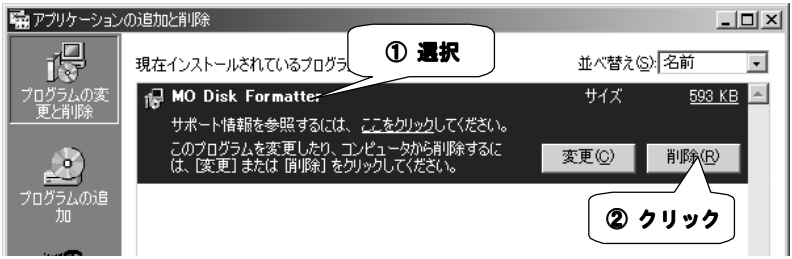
1 Administrator権限を持つユーザーでログオンします。

2 「アプリケーションの追加と削除」を起動します。

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。
②表示された「コントロールパネル」内の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 ［MO Disk Formatter］を指定します。

［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

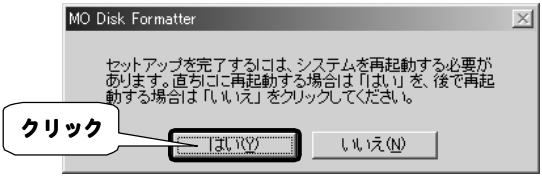


4 ［はい］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。これでサポートソフトの削除は完了です。



Windows Me/98/95/NT 4.0の場合

1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

②表示された［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 「MOシリーズサポートソフト」を選択します。

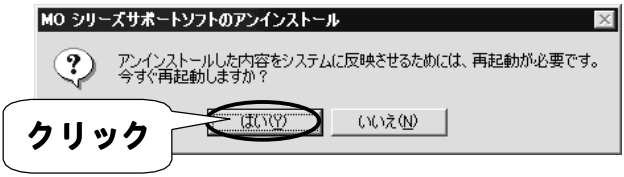
「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。

3 ［設定完了］ボタンをクリックします。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。これでサポートソフトの削除は完了です。



Windows NT 3.51の場合

1 ［コントロールパネル］内の［デバイス］を起動します。

プログラムマネージャで［メイン］グループから［コントロールパネル］を開き、［デバイス］を起動します。

2 ［Scsimo］を選択します。

3 ［スタートアップ］ボタンをクリックします。

4 ［無効］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

6 ［終了］ボタンをクリックします。

⇒これでサポートソフトの削除は完了です。

動作モードについて

ここでは、本製品の動作モードについて説明します。

動作モードについて

動作モード	特徴
MOモード	アクセスランプが点灯していなければいつでもMOディスクを交換することができます。 本書では、MOモードで動作することを推奨しています。
HDDモード	本製品はハードディスクとして認識されます。 そのため、パソコン動作中にMOディスクを交換できません。



HDDモードの制限

・Windows 3.1およびDOSでのみお使いいただけます。
・640Mバイト のMOディスクは使えません。
・パソコンが動作中に、MOディスクを取り出せません。
※イジェクトボタンを押さないでください。

HDDモードで使うには

●HDDモードで使うための設定

1 動作モードを設定します。

【モードを設定しよう】(10ページ)をご覧ください。

2 SCSI-IDを設定します。

HDDモードで本製品を使うためには、SCSI-IDの設定を変える必要があります。下の参考をご覧になり、SCSI-IDの設定を変更してください。



SCSI-IDを設定する際のヒント

≪本製品のみを接続している場合≫
SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

≪複数のSCSI機器を接続している場合≫
本製品を0に設定し、その後連続して他のSCSI機器を設定してください。
例)SCSI-ID=0：本製品
SCSI-ID=1：HDD
SCSI-ID=2：CD-ROM

●MOディスクからの起動方法



このような場合、MOディスクから起動できません
・DOS/Vマシンで、IDEのハードディスクを使っている場合

1 パソコンの電源を入れる前にMOディスクをセットします。

2 本製品の電源を入れ、パソコンを起動します。

3 MOディスクをハードディスクとしてフォーマットします。

パソコンが起動後、MS-DOSのフォーマットコマンドを使って、MOディスクをハードディスクとしてフォーマットします。
また、MOディスクから起動したい場合は以下のコマンドを使う時にシステム転送を行ってください。

・DOS/Vマシン……fdisk.com、format.com
・PC-9821シリーズ…format.exe（固定ディスクを選択）
（これらコマンドの使用方法はMS-DOS取扱説明書をご参照ください。）



間違ってハードディスクをフォーマットしないでください
本製品のドライブ文字を確認してからフォーマットしてください。

4 MOディスクをセットしたまま、パソコンを再起動します。

DOS/Vマシンの場合

自動的にMOディスクからシステムが起動します。
他のSCSI機器からシステムが起動した場合は、SCSI-IDをご確認ください。

PC-9821シリーズの場合

「固定ディスク起動メニュープログラム」が起動します。
「SCSI固定ディスク　#x」（xはSCSI-IDに1を加えた数字）と表示されている装置のなかで本製品に該当する装置を選ぶと、MOディスクから起動します。
（「固定ディスク起動メニュープログラム」の操作方法はパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。）

MOディスクから起動する

ここでは、MOディスクから起動する方法について説明します。

本作業は、PC-9821シリーズのWindows 98/95、Windows 3.1、DOSのみ可能です。

以下の環境では、MOディスクから起動できません

- PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンでお使いの場合
- BIOSのないSCSIインターフェイスに接続してお使いの場合
- SCSI PCカードに接続してお使いの場合

640MバイトのMOディスクでは行えません

640MバイトのMOディスクは、起動ディスクとしては使えません。

Windows 98/95の場合

MS-DOSモードで起動されます

Windowsではなく、MS-DOSモードで起動されます。

1 MOディスクをフォーマットします。

「クイックフォーマット」または「通常のフォーマット」でMOディスクをフォーマットします。

【●MOディスクをフォーマットする】(45ページ)を参照してください。

2 システムファイルをコピーします。

再度、［起動専用］を選択してMOディスクをフォーマットします。

【●MOディスクをフォーマットする】(45ページ)を参照してください。

3 作成したMOディスクを挿入したまま、OSを再起動します。

4 自動的にMOディスクから起動します。

起動後はドライブ名が変わりますので、ご注意ください。

例）ハードディスクがA,Bドライブ、フロッピーディスクドライブがCドライブだった場合、本製品から起動後は、

Aドライブ　：本製品
Bドライブ　：フロッピーディスクドライブ
C,Dドライブ：ハードディスクドライブ

Windows 3.1、DOSの場合

●MOディスクから起動するための設定

MOディスクから起動するためにはSCSI-IDの設定を変える必要があります。
下の参考をご覧になり、SCSI-IDの設定を変更してください。



640MバイトのMOディスクを使えなくなります

この設定を行うと、640MバイトのMOディスクは使えません。



SCSI-IDを設定する際のヒント

≪本製品のみを接続している場合≫

SCSI-ID=**0**：本製品（初期値。変更の必要はありません。）

≪複数のSCSI機器を接続している場合≫

SCSI機器は0から連続して設定してください。

例)SCSI-ID=0：HDD
SCSI-ID=1：本製品
SCSI-ID=2：CD-ROM

●MOディスクからの起動方法

1 MOUTLを起動します。

下のように入力し、↵キーを押します。

```
MOUTL
```

2 システム転送を「する」にしてフォーマットします。

MOUTLを使い、システム転送を「する」に設定してMOディスクをフォーマットします。

【●MOディスクをフォーマットする】(64ページ)を参照してください。

3 作成したMOディスクを挿入したまま、OSを再起動します。

4 自動的にMOディスクから起動します。

起動後はドライブ名が変わりますので、ご注意ください。

例）ハードディスクがA,Bドライブ、フロッピーディスクドライブがCドライブだった場合、本製品から起動後は、

Aドライブ　：本製品
Bドライブ　：フロッピーディスクドライブ
C,Dドライブ：ハードディスクドライブ

RINGOWIN LE

「RINGOWIN LE」は、「Windows Me/98/95およびWindows 3.1」と「Mac OS」の間でデータ交換を可能にするソフトです。
WindowsでMac OSのデータを受け取ったり、WindowsのデータをMac OSでフォーマットしたMOディスクに書き込むことなどができます。

●RINGOWIN LEのインストール方法

・Windows Me/98/95の場合

【使えるようにしよう】(39ページ)をご覧になり、［RINGOWIN LE］ボタンをクリックしてください。

・Windows 3.1の場合

本製品に添付のCD-ROMのRINGOWINディレクトリ内にある「Setup.exe」を実行します。
詳細については、下を参照してオンラインマニュアルをご覧ください。

●RINGOWIN LEの使用方法について

「RINGOWIN LE」のオンラインマニュアルが、本製品に添付のCD-ROMのルートフォルダ（ディレクトリ）内に入っています。

・RINGOWIN.TXT(テキスト形式)
・RWLE_1.DOC,RWLE_2.DOC,RWLE_3.DOC(WORD形式)

または、実行中にヘルプを参照してください。



WORD形式のオンラインマニュアルが見づらい場合は
表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。

B'sCrew Backup for Windows

「B'sCrew Backup for Windows」は、お使いのハードディスクなどの内容をバックアップすることのできるソフトウェアです。

● 対応機種・OSについて

対応機種：NEC PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン
SCSI MOドライブの場合は、BIOSが搭載されたSCSIボードに接続されていること。

BIOSの搭載について

・SCSIボードの場合
お使いのSCSIボードにBIOSが搭載されているかどうかはSCSIボードのメーカーにお問い合わせください。
弊社製 SC-NBPCI,SC-NBUN,SC-NBDはBIOSを搭載していないのでお使いいただけません。

・SCSI PCカードについて
SCSI PCカードはBIOSが搭載されていないためお使いいただけません。

対応OS：Windows 2000,
Windows Me, Windows 98, Windows 98 SE, Windows 95 OSR 2以降
Windows NT 4.0

Windows 95のバージョンの確認方法

① ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックします。
② 表示される番号がWindows 95のバージョンです。



● インストールについて

【使えるようにしよう】(27,39ページ)をご覧になり、［B'sCrew Backup for Windows］ボタンをクリックしてください。

● お使いになるにあたって

お使いの際は、オンラインマニュアル（インストールしたフォルダ内にある「B'sCrewBackup_Manual.pdf」）をご覧ください。

オンラインマニュアルをご覧になるには

オンラインマニュアルをご覧になるには「Acrobat Reader」が必要です。インストールされていない場合は、「MOXシリーズユーティリティソフト」CD-ROMの「BSCREWBK」フォルダ内にある「AR40JPN.EXE」を起動してインストールしてください。

用語解説

HDDモード［ハードディスクドライブモード］

ハードディスクと同じ形式でフォーマットされたMOディスクへのアクセスができるモード。この方式のMOディスクを使いたい場合や、この方式でのデータのやり取りが必要な場合に使う。

MOモード［エムオーモード］

「スーパーフロッピーフォーマット」でフォーマットされたMOディスクへのアクセスができるモード。MOディスクに格納されたファイルはハードディスクのファイルと同様に読み書きすることができる。

SCSI（Small Computer System Interface）［スカジー］

パソコンとハードディスク、CD-ROMドライブ等の周辺機器を接続するためのインターフェイス規格。

オーバーライト

オーバーライト対応のMOディスクを使うと従来のMOディスクよりも高速に書き込む事ができる。

従来はMOディスクへのデータ書き込みまでに消去、書き込み、内容確認の３工程をしなければならなかった。
しかし、オーバーライト方式ではデータの消去と書き込みを同時にすることによって工程を１つへらして高速化を可能にした。

ケンジントンスロット

ケンジントンロックに合うように作られたセキュリティ・スロット。
ケンジントンロックを、固定された安全なもの（机やラックなど）に巻き付けたあと、スロットに差し込んで鍵をかけることで盗難などを防ぐ。



Kensington マイクロセーバー
本製品のケンジントンスロットに合うケンジントンロックです。
詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。

http://www.nanayojapan.co.jp/microsaver/index.html

スーパーフロッピーフォーマット

本製品添付ユーティリティ(MOフォーマット、moutl.exe)での論理フォーマット形式またはWindows Me/98/95での標準フォーマット形式。
「IBMフォーマット」または「セミIBMフォーマット」という場合もある。

ターミネータ

終端抵抗。
複数のSCSI機器を接続する場合に、終端部分で信号が反射しないように接続する。
SCSIインターフェイスに接続する一番遠いSCSI機器には、ターミネータを接続しなければならない。

フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

オプション品

●SCSI接続ケーブル（ハイ・インピーダンスタイプ）

型番	長さ	タイプ
A50-A50	75cm	D-subハーフピッチ50ピン⇔D-subハーフピッチ50ピン
A50-A50-M	50cm	
A50-A50-S	30cm	
A50-A50-SS	10cm	
A50-H50	75cm	D-subハーフピッチ50ピン⇔ アンフェノールハーフピッチ50ピン
A50-H50-S	30cm	
F50-A50	75cm	アンフェノールフルピッチ50ピン⇔ D-subハーフピッチ50ピン
AP30-A50	48cm	HDI30ピン⇔D-subハーフピッチ50ピン
CBSCⅡ-A50-L※	75cm	専用25ピン⇔D-subハーフピッチ50ピン

※ 弊社製CBSCⅡシリーズ,PCSC-Fシリーズ専用ケーブル。
デイジーチェーン接続にはお使いいただけません。
50cmのデイジーチェーン接続可能なケーブルをバージョンアップ窓口にて案内しております。ご入用の場合はお問い合わせください。

●ターミネータ、変換コネクタ

型番	タイプ
TA-A50	アクティブ・ターミネータ　D-subハーフピッチ50ピン
AD-SC/AH	変換コネクタ　D-subハーフピッチ50ピン(メス)⇔ アンフェノールハーフピッチ50ピン(オス)
AD-SC/HA	変換コネクタ　アンフェノールハーフピッチ50ピン (メス)⇔D-subハーフピッチ50ピン(オス)

ハードウェア仕様

●MOX-SX640

	MOX-SX640
インターフェイス仕様（最大）	Ultra SCSI/SCSI-2
	20Mバイト/Sec※1(同期転送), 10Mバイト/Sec(非同期転送)
使用可能MOディスク	128M,230M※2,540M※2,640M※2バイト
セクタサイズ	・128M,230M,540MバイトのMOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム（平均）	23ms
MOディスク回転数	4558rpm
データ転送速度(最大)	4.96Mバイト/sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5℃～+35℃(パソコンの動作する範囲であること)
動作湿度	20%～80%（ただし結露なきこと）
消費電流	7.0W
本体サイズ	42(W) × 265(D) × 131(H) mm
本体質量	約1.4kg

サポートセンターへのお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOX-SX640」係　宛

■電話・FAX

電話番号
●Windowsノートパソコン
金沢　076-260-3661　東京　03-3254-1085
●Windowsデスクトップパソコン&Macintosh
金沢　076-260-3367　東京　03-3254-0340
電話受け付け時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号　　金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

B'sCrew Backup for Windowsに関するお問い合わせ

■株式会社ビー・エイチ・エー サポートセンター

電話番号	06-4861-8234
電話受け付け時間	10:00～12:00　13:00～17:00 月～金曜日 （夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）
FAX番号	06-6378-3336

■株式会社ビー・エイチ・エー ホームページ

インターネット　　http://www.bha.co.jp/

■B'sCrew Backup for Windowsのバージョンアップ

株式会社ビー・エイチ・エー製 「B'sCrew Backup for Windows」のバージョンアップサービスは弊社ではしておりません。

バージョンアップをご希望の場合は添付の「ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ」にてユーザー登録をしてください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOX-SX640」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOX-SX640 取扱説明書
2001.Oct.17 98026-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVERシールをお貼りください

VERシール